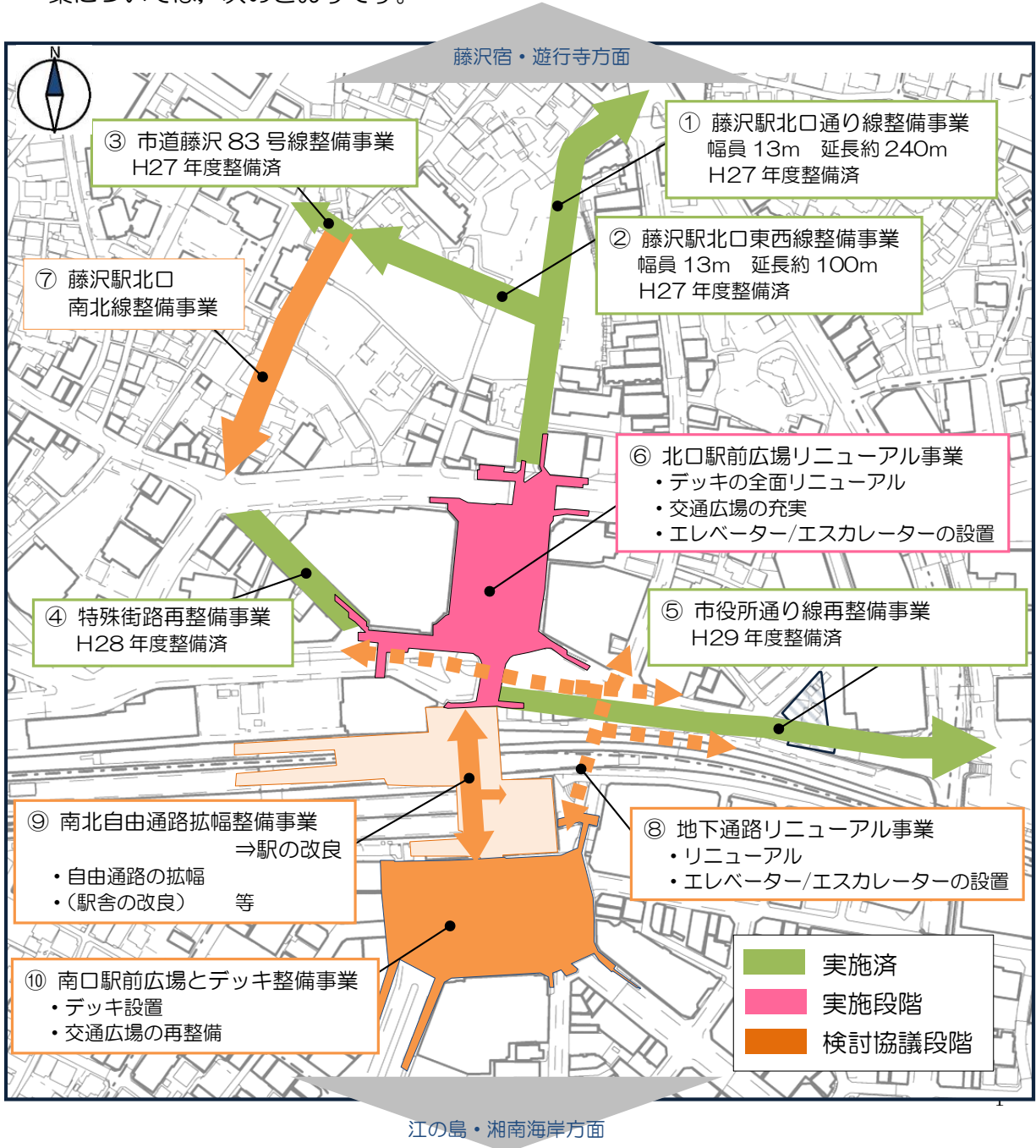


藤沢駅周辺地区再整備事業の進捗状況について

1 藤沢駅周辺地区再整備事業について

藤沢駅周辺地区において、実施済の事業、実施段階の事業及び検討協議段階の事業については、次のとおりです。



2 北口駅前広場リニューアル事業について [1ページの図 ⑥]

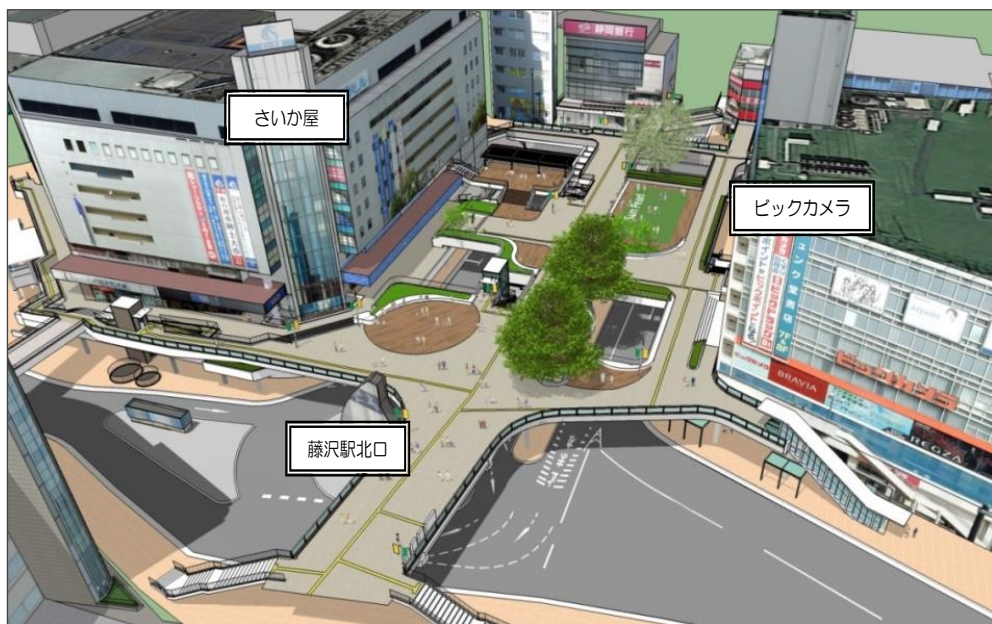
現在、藤沢駅北口では、平成29年度から「藤沢駅北口ペDESTリアンデッキ再整備工事」に着手しています。平成30年度は、「藤沢駅北口サイン整備工事」に着手したところです。

また、平成31年度は、デッキ下部の「交通広場再整備工事」の着手に向けて、現在、設計を実施しており、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会までの完成を目指します。

〈整備スケジュール〉

	年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
北口駅前広場リニューアル事業										
デッキ再整備工事					→					
サイン整備工事					→					
交通広場再整備工事					→					

〈凡例〉	設計	→	工事	→	東京オリンピック・パラリンピック	→
------	----	---	----	---	------------------	---



完成イメージ

(1) 藤沢駅北口ペDESTリアンデッキ再整備工事（現在施工中）

ア 工事概要

平成29年度から既存デッキの構造躯体を活かし、バリアフリーへの対応や、にぎわいや交流、憩いを育む空間づくりを目的としたリニューアル工事に着手しています。

工事費：¥1,941,624,000円【継続費総額】

工期：平成29年9月5日から平成31年12月13日まで（約2年3箇月）

施工者：熊谷組・田中建設工業・山藤建業共同企業体

〈主な工種〉◎ペDESTリアンデッキ再整備総面積 A=約4,700㎡
○舗装工, ガラス高欄工, 多柵式高欄工, エレベーター設置及び改良工, エスカレーター設置工等

イ 進捗状況

デッキ上を4つに分割し, そのうち2つのブロックのタイルや高欄, ベンチなどの設置を完了し, 現在, 残る2つのブロックの既存施設の撤去, ビックカメラ前のエスカレーター設置, デッキ中央のエレベーター設置に着手しています。



サンパールビルから見た施工状況



ビックカメラ前の完成したベンチ

(2) 藤沢駅北口サイン整備工事 (現在施工中)

ア 工事概要

公共施設や公共交通などの案内・誘導するサイン板を, デッキ上に設置する工事に着手しています。

工事費: ¥20,122,560円

工期: 平成30年9月6日から

平成31年3月15日まで (約6箇月)

施工者: 森山建設株式会社

〈主な工種〉

◎デッキ上部に整備するサイン板設置工事

○サイン板設置工 施設・バス停誘導等サイン

イ 進捗状況

現在, サイン板の工場製作を行っており, デッキ上部の再整備工事の進捗に合わせて, 設置可能な箇所から順次, 設置する予定です。



施設等誘導サイン



バス停誘導サイン

(3) 藤沢駅北口交通広場再整備工事（平成31年度工事予定）

ア 工事概要

デッキ上部の工事進捗に合わせて施工するため、平成31年度の工事着手に向け、デッキ下の交通広場再整備工事の設計を実施しています。

予定工期：平成31年6月中旬から平成32年6月下旬まで（約1年）

〈主な予定工種〉◎交通広場再整備総面積 A=約8,740㎡

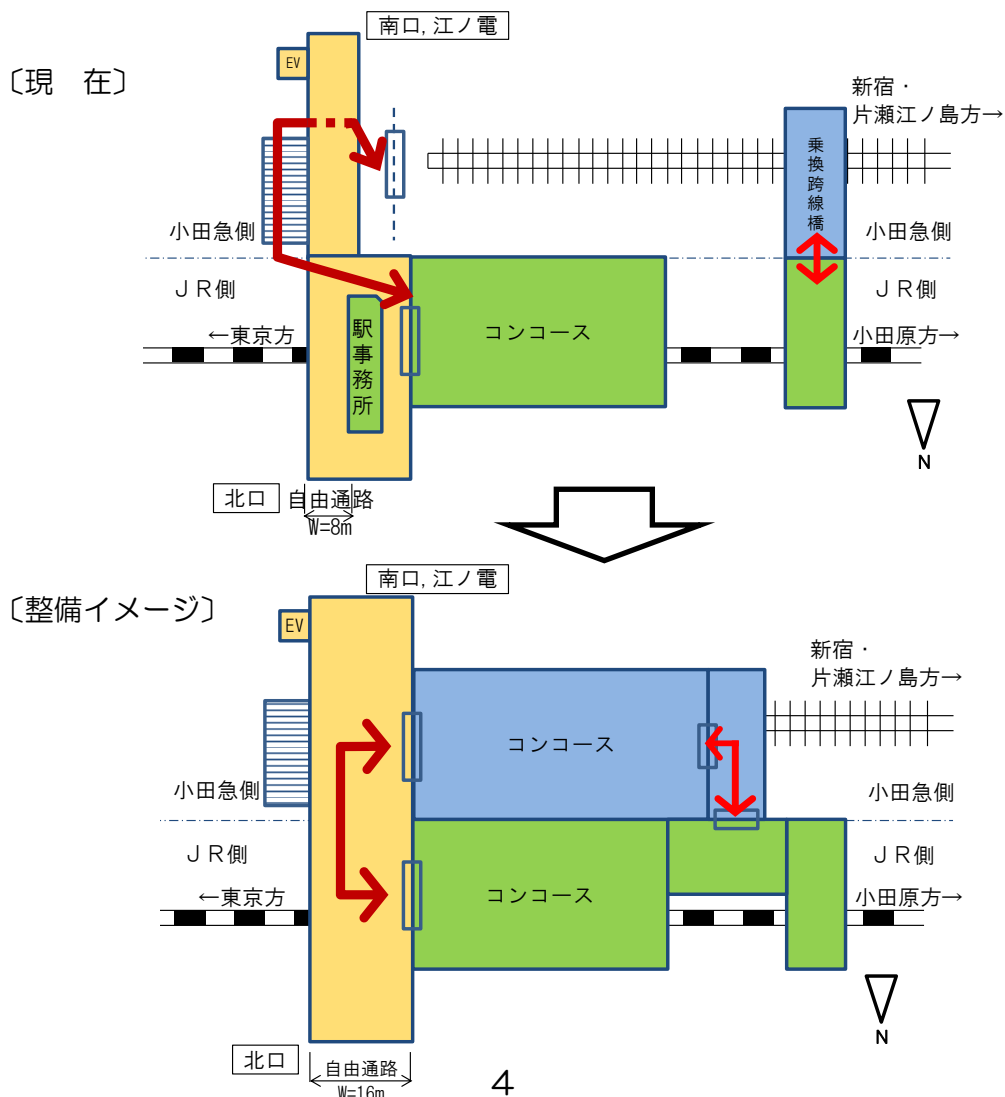
○舗装工，排水構造物工，防護柵設置工，照明灯設置工等

イ 進捗状況

現況のバスターミナルの機能を活かしながらの再整備となるため、現在、交通管理者や交通事業者等との調整を行いながら、設計を進めています。

3 南北自由通路拡幅整備事業について [1ページの図 ⑨]

南北連携強化等による市民等の利便性・回遊性向上及び街の活性化を目的として、南北自由通路拡幅及びそれに伴う駅舎改良の実現に向けて、東日本旅客鉄道(株)、小田急電鉄(株)及び市の三者で協議を継続して行っており、下図のような形態で合意を目指しています。



今年度は、三者でプランの見直し等について協議しているところですが、東日本旅客鉄道(株)、小田急電鉄(株)及び市の三者で年度内に国庫補助金の活用を前提とした基本協定の締結を行う予定です。なお、基本協定締結後、小田急電鉄(株)とは基本設計に着手し、東日本旅客鉄道(株)とは平成31年度からの基本設計着手に向け調整を進めています。

4 南口駅前広場とデッキ整備事業について [1ページの図 ⑩]

(1) 南口駅前広場再整備基本計画の検討状況

南口駅前広場の再整備については、南北自由通路や駅舎等と一体的な空間として双方の調整が図れるよう検討を進めています。

南口駅前広場再整備基本計画の検討においては、次の時代を見据えるとともに、藤沢・湘南らしさを感じられる駅前広場空間の創出を目指し、多様な意見を反映できるように「藤沢駅南口駅前広場等あり方検討会議」と「藤沢駅南口交通広場調整会議」の二つの検討組織との意見交換や、利用者アンケート調査の実施(平成29年度)、関係団体等へのヒアリング、交通事業者や庁内関係課との協議等を行っています。

(2) 今後のスケジュール

南口駅前広場再整備基本計画案については、平成30年度内にとりまとめを行い、その後、パブリックコメント等を経て基本計画を策定する予定です。

南口駅前広場の再整備については、現在、協議中の南北自由通路や駅舎等の整備に次いで事業を実施する予定です。

5 地下通路リニューアル事業について [1ページの図 ⑧]

(1) リニューアルの考え方及び進捗状況

藤沢駅の南北及び東西方向をつなぐ地下通路については、安全で快適に駅周辺を回遊できるよう、明るく歩きやすい空間へとリニューアルを予定しています。併せて、比較的ゆとりのある空間を活用した新たな交流やにぎわいの機能の創出を目指し、北口デッキやサンパレット等との連携やエリアマネジメントの導入等を想定して、藤沢駅周辺の活力創出に資する空間となるよう、検討を進めています。

事業の進め方としては、さいか屋やビックカメラなどをつなぐ東西方向部分と、東海道線の線路下を通過する南北方向部分に分け、まず、東西方向部分を先行して、リニューアルを進める予定です。

平成30年度は調査・概略設計の受託者を選考するための公募型プロポーザルを7月から8月で実施し、現在、調査・概略設計を進めています。

(2) 今後のスケジュール

東西方向については、平成31年度に詳細設計を予定しており、平成32年度に工事着手し、平成33年度半ばから多様に利用いただくことを目指しています。

南北方向については、南北自由通路拡幅整備事業等と関連することから、藤沢駅周辺地区再整備事業の最終段階でのリニューアルを計画しています。

6 藤沢駅北口南北線整備事業について [1ページの図 ⑦]

(1) 事業概要

藤沢駅北口南北線は、平成27年6月に供用開始した藤沢駅北口通り線、東西線とともに街区形成のための路線として、また、銀座通り方面への回遊性を高める路線として整備するものです。

整備延長は約50m、幅員は現況の約3mから東側に約6m拡幅し、総幅員を約9mとして計画しており、その構成は車道幅員約6m、歩道幅員約3mです。

(2) 進捗状況

平成29年度に交通管理者と道路拡幅整備に伴う交差点協議を終え、現在、権利者への事業説明及び事業合意に向けた調整を図っているところです。

7 にぎわい・交流及び魅力づくりに向けた取組について

(1) サンパレットにぎわい創出社会実験

平成29年度及び30年度で、市民等の認知度向上及び今後の拡大した取組等を実施する際の課題把握を目的に、各部局と連携しながら、「サンパレットにぎわい創出社会実験」を実施しています。

ア 平成29年度の取組

平成29年度は、年間を通じてテーブルと椅子を配置した「オアシススペース」及び「ふじさわ元気バザール」等のイベントを実施しました。これらの社会実験の検証をするために、イベント主管課及び道路管理者への実施状況に関する意見集約や、イベント実施者及び参加者へのアンケートを一部実施しました。参加者へのアンケート結果では、サンパレットの愛称の認知度向上や、イベント等を実施することに対して概ね好意的な回答等を受け、にぎわいの場として親しまれつつあると考えています。

イ 平成30年度の取組

平成30年度は、平成29年度で実施したイベント等に加え、新たな取組として、月に1回、市内の新規就農者グループによる地元野菜を販売する野菜市や、サンパレットの配電地上機器にデジタルサイネージを設置し、公共情報を発信する取組等を実施しており、実施結果を踏まえた検証を行う予定です。

(2) エリアマネジメント導入に向けた取組

ア 検討状況

藤沢駅周辺地区の再整備及び再活性化に向けては、当初から整備後のにぎわい創出や魅力づくりを見据えた仕組みの必要性を掲げており、現在、藤沢駅南北の駅前広場等、藤沢駅前の公共空間を中心に、官民連携したエリアマネジメントの導入に向けて検討しています。

平成28年度から地元経済団体や駅街区内の事業者等が参画した勉強会を重ね、エリアマネジメントの組織のあり方や運営方法等について理解を深めるとともに、藤沢駅街区で導入した場合を想定した意見交換等を行っています。平成30年度前半は、実施を見据えたスキームや体制等について理解の共有化を進め、後半は実施計画を作成し、概ねの方向性について協議・調整を進めています。

併せて、エリアマネジメント導入に当たっては、庁内多岐にわたる部署が関連することから、現時点で関連する可能性が考えられる部署が参加した庁内調整会議を設置し、エリアマネジメント導入に適用する制度等について検討等を行っています。

イ 今後のスケジュール

北口デッキリニューアル工事の完了後のエリアマネジメント導入を目指し、平成31年度は、エリアマネジメント組織設立準備会を立ち上げるとともに、エリアマネジメント導入に適用する制度等に必要な各種手続等を進める予定です。